

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名:就職準備教室ココジョブジュニア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	活動内容に合わせて机や機材を移動し、適切なスペースを確保している。	施設内の別空きスペースを活動スペースとして組み込み、室内レク等で使用していく。
	2 職員の配置数は適切である	0	4	他事業所との連携し、指導員の数を確保している。	指導員の応募が少なく、人材の確保に苦慮するケースもあるが、他事業所と連携して有資格の指導員を確保している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	全員参加の毎日のミーティングにおいて活動内容について議論し、改善を図っている。	その日の利用者の課題と指導方針を設定し、その日のうちに振り替えることが出来るようにする。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	月1回、放課後等デイサービスを提供する他事業所と療育のミーティングを行い、知見の向上を図っている。	児発管、指導員が情報共有と活動の振り返りを行い、課題の設定、解決のための具体策など話し合っている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		児発管が常駐して各児童を観察し、保護者ともコミュニケーションをとることでより適切な計画を作成する。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	全員参加の毎日のミーティングにおいて活動内容について議論し、改善を図っている。	コンテンツと教材を事業所全体で共通化することで指導レベルを確保し、また同じ内容で振り返りが出来るようにする。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2	各児童の様子を見て必要であれば個別指導へ移行している。	個々人の観察を充実させ指導の観点を適切に抽出することで、集団活動の中での個別的指導を的確に実施していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
関係機	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	2		定期的にモニタリングのスケジュールを組みなおし、進めている所です。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		※医療的ケアが必要な子供の受入れはありません。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2		保護者および相談支援員を介して現在の状況や過去の背景などを教えあい、利用者の理解につなげている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2024年 2月26日

事業所名：就職準備教室ココジョブジュニア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関や保護者との連携	24	2	2		
	25	2	2		セミナーや会議に出席するようになっている。
	26	2	2		コロナ期間が長く続き、連携が取れていない。今後検討したい。
	27	3	1		
	28	4	0		
	29	1	3		
保護者への説明責任等	30	2	2	見学・体験時の説明チラシで、利用にあたっての留意点を説明している。また契約時は重要事項等の説明を丹念に行っている。	これまでの取り組みを継続し、利用前の見学と体験の際に説明チラシをもとに出来るだけ詳細に説明する。契約時の説明も契約書を用いて十分な時間を確保する。
	31	4	0		
	32	1	3		コロナ期間が長く続き、連携が取れていない。今後検討したい。
	33	4	0		
	34	4	0		
	35	4	0		
	36	4	0		
	37	1	3		コロナ期間が長く続き、連携が取れていない。今後検討したい。
非常時等の対応	38	3	1		
	39	4	0		
	40	4	0		
	41	3	1		
	42	4	0		
	43	4	0		